

特別寄稿・・・「私がロータリアンになって学んだこと」

元国際ロータリー会長 田中作次

- a. 多様性の理解：歴史、文化、伝統、習慣、言語、地域など
- b. 潜在能力の顕在化、高い目標が大切（努力と挑戦）
- c. 国際大会、地区大会などイベントに参加する事で感動を受ける
- d. 世界の人々バッチだけですぐに友人になれる、国際性豊かな人生を
- e. NGOとしての誇りが持てる組織、120万人、34,000の地域に存在
- f. 将来を担う青少年の育成プログラムが多い
- g. 疾病への取り組み、1988年からポリオ撲滅がRI第一の目標
- h. 1989年以来女性会員の増加、現在は15%
- i. 他団体との協力関係を推進、UN ユネスコ ユニセフ
- j. 2002年以来、平和フェローシップ・プログラムの推進、世界で6つのロータリーセンターが活動
- k. 全ての会員が、ロータリーとは何かを明確に認識（1分 3分で）
- l. 世界理解と親善を通して平和を
- m. 2012～13年度に200ページの本を発行、シニアリーダーから寄稿を
- n. 子供の頃の世界を回りたい夢が実現、1996年から160回以上の外国に
- o. 私の人生目的だった他人や社会の為に役立つことができる
- p. ロータリアンから学ぶことが多く、感動と生き甲斐を感じる
- q. ボランティア精神と活動の重要性を知る
- r. この組織に参加する事によって、指導力が養える
- s. 高い目標に挑戦できる、良いチャンスである
- t. 顧客の満足と社会への貢献が更に強化される
- u. 新世代の方々からも多くの意見やアイデアを聴くことが可能
- v. 助け合い、思いやりなどの多くの場面で他者への貢献ができる
- w. ポリオを始め、人道的貢献が私たちに豊かな人生に導いてくれる
- x. 迷った時は、難しい方や嫌な方を選ぶ
- y. 不平や不満は貴重な情報資源であり、あらゆる改善に最も価値がある
- z. 初対面だけで他人の悪い評価をしないこと

その他、4つのテストで行動、ロータリーを通して世界平和を、人権の尊重、常に周りを明るくする役割を、平等の意識と感謝の心、同じ目線ですべてに対応、誠意、良く聞く習慣、謙虚さを学ぶ、他者に喜びを与える、困っている人々に支援を、他者の長所を探し、新世代の育成で未来を築く事である。